基盤共通教育基幹科目

「山形から考える/ ハンドブック



THINKING OUTSIDE YAMAGATA



#### 目 次

受講にあたって

学習地域別マップ

授業紹介

現地講師からの 学び方

現地体験の服装

山形県の基礎情報

# 基盤共通教育のシラバスはこちら

http://www.yamagata-u.ac.jp/ gakumu/syllabus/2019/7sylla.htm

#### 前期

- 07 山形の方言と日本語
- 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り
- 山形の歴史と文化
- 地方で考える
- 11 チャレンジ the ミッション I 食で育む地域の語り場-
- 世間の歩き方
- フィールドワーク城下町
- 山形の歴史と文化
- 地域体験スタートアップ
- 山形の水土里(みどり) 資源
- 地域の中の大学
- 石造文化と祈り
- 先史時代の山形を訪ねる
- 人間の生活と食の安全・安心 I
- 山形大学って何だろう?
- 新聞で山形を知る
- Jリーグと地域社会
- 24 フィールドワーク・月山 景観から地域を読む-
- 「地域」と「学校」の関係から山形を考える
- フィールドワーク山形で働く魅力(プレインターンシップ)
- 山形から考える地域産業
- 山形の森づくり体験
- 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ(農業体験)
- つまずきから学ぶリーダーシップ
- 山形から考える地域づくり
- フィールドラーニング -共牛の森もがみ
- 33 フィールドラーニング庄内

- 34 山形と紅花の歴史
- 雪国で考える
- 地域体験スタートアップ
- 山形の火山、世界の火山
- 山形の歴史と文化
- グローバル社会で活躍するために -国際派の先輩をお招きして-
- 観光経済学と地域ブランド
- 山形の食を考える
- キャリア形成とワークライフバランス
- 歴史民俗資料を読み解く
- 人間の生活と食の安全・安心 II
- 45 近代文学の中の山形
- 世間の歩き方
- 新聞で山形を知る
- 仕事の流儀~プロから学ぶ仕事のやりがい~
- 雪とともに牛きる体験
- 地域のにぎわいづくり体験
- やまがたフィールド科学Ⅱ

(雪との共生-雪国の自然と生活-)

# 受講にあたって

# 地域をキャンパスとして学ぶ 「山形から考える」

千代 勝実 学士課程基盤教育機構長

山形大学では、みなさんが生活し、学び、交流する地域を、重要な学びのための環境として位置付け ています。普段意識することはないかもしれませんが、みなさんの生活は単に家と大学の往復というだけ でなく、生活圏である地域の上に成り立っています。地域とは、商店で買い物をしたり、アルバイトをし たり、趣味を楽しんだり、友人や家族・近所の人々と交流したりといった、このような様々な活動をおこ なう舞台です。

基幹科目「山形から考える」は、普段は空気のようにみなさんをとり囲んでいる地域というものを、あ らためて意識的に見つめ直し、基幹科目のもう一つの枠組みである「人間を考える・共生を考える」とと もに、より具体的な課題発見・解決といった学習活動をおこなっていくことで、地に足のついた成長につ なげていく役割があります。基盤共通教育の授業は専門を漏らさず突き詰めるというよりは、目の前に ある課題を解決するために手元にある体系的な知識や技術を生かし必要に応じて少し勉強し不完全なが らも解決していく器用仕事的な、いうなれば手料理や日曜大工に似たところがあります。「山形から考え る」をはじめとした基幹科目は、このようにこれまでとは異なった学び方の入口だということを、意識しな がら勉強し課題に取り組んでいくといいでしょう。

大学1年生にとって「山形から考える」で取り上げている少し離れた場所にある非日常的な、しかし極 めて具体的な題材は、このような学びの導入としてわかりやすいものになるでしょう。しかし、本当に大 切なことは、そこで学んだことをその場で終わらせてしまうのではなく、みなさんが生活している地域の日 常に生かしたり、さらには他の地域や社会活動での課題発見・解決に生かしたりすることです。この授 業を履修して、みなさんがより一層自分の足もと、そしてはるか遠く先を見つめることができる、自立し た人間へ一歩成長することを期待しています。



協働学習タイプ 学習時間の1/4以上で、 学習時間の1/2以上で、 個人による学習を重視 学習時間の1/4以下で、 し、協働学習(グループ 協働学習を行う。 協働学習を行う。 協働学習を行う。 ワークやプレゼンテーショ ン) は行わない。

				<b>神我至</b>	個人	
	時間割コード	授業名	担当教員	地域学習タイプ	協働学習タイプ	校時 定員 ページ
1	78608	山形の方言と日本語	中澤 信幸		0-0-0	月 3.4   30   07
2	78620	地域の知恵と科学の力でエコ社会創り	大谷 典正		0-0-0	月 5.6 30 08
3	78621	山形の歴史と文化	荒木 志伸	0-0-0	0-0-0-0	月 5.6 180 09
4	78627	地方で考える	東山 禎夫	0-0-0-0	0-0-0-0	月 7.8 32 10
5	78637	チャレンジ the ミッション I 一食で育む地域の語り場ー	鈴木 拓史/三原 法子	0-0-0-0	0-0-0-0	月 9.10 16 11
6	78638	世間の歩き方	小倉 泰憲			月 9.10 20 12
7	78719	フィールドワーク城下町	阿部 宇洋			
						火5.6 30 13
8	78734	山形の歴史と文化	荒木 志伸	0-0-0	0-0-0-0	火 9.10 180 14
9	78366	地域体験スタートアップ	滝澤 匡/佐々木 究	0-0-0	0-0-0-0	水 5.6 40 15
10	78375	山形の水土里 (みどり) 資源	奥山 武彦	0-0-0	0-0-0	水 7.8 50 16
11	78376	地域の中の大学	橋爪 孝夫	0-0-0	0-0-0	水 7.8   50   17
12	78386	石造文化と祈り	荒木 志伸			水 9.10 20 18
前 13	78470	先史時代の山形を訪ねる	白石 哲也	0-0-0	0-0-0-0	木3.4 8 19
14	78477	人間の生活と食の安全・安心Ⅰ	片平 光彦	0-0-0-0	0-0-0	木7.8 50 20
期 15	78560	山形大学って何だろう?	山本 陽史	0-0-0-0	0-0-0-0	金3.4 50 21
16	78568	新聞で山形を知る	山本 陽史	0-0-0		金5.6 50 22
17	78577	リリーグと地域社会	下平裕之			金7.8 30 23
18	78578	フィールドワーク・月山 -景観から地域を読む-	八木 浩司			金7.8 20 24
		「地域」と「学校」の関係から山形を考える	野口徹			
19	78579					
20	78584	フィールドワーク山形で働く魅力(プレインターンシップ)	松坂 暢浩/山本美奈子	0-0-0-0		金 9.10 80 26
21	78903	山形から考える地域産業	吉原 元子	0-0-0	0-0-0	集中 20 27
22	78904	山形の森づくり体験	滝澤 匡/阿部 宇洋	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 6 28
23	78905	農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ(農業体験)	小沢 亙	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 50 29
24	78906	つまずきから学ぶリーダーシップ	阿部 宇洋		0-0-0	集中 30 30
25	78907	山形から考える地域づくり	村松 真		0-0-0	集中 20 31
26	78908	フィールドラーニング -共生の森もがみ	阿部 宇洋/小田 隆治	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 177 32
27	78918	フィールドラーニング庄内	阿部 宇洋	0-0-0-0	0-0-0-0	集中 10 33
						E40 400 04
1	79151	山形と紅花の歴史	岩田浩太郎	0-0-0	0-0-0-0	月1.2 132 34
2	79166	雪国で考える	東山 禎夫	0-0-0-0	0-0-0-0	月 5.6 32 35
3	79167	地域体験スタートアップ	滝澤 匡/佐々木 究	0-0-0	0-0-0-0	月 5.6 20 36
4	79168	山形の火山、世界の火山	伴 雅雄	0-0-0	0-0-0-0	月 5.6 30 37
5	79606	山形の歴史と文化	荒木 志伸		0-0-0	火 3.4 180 38
6	79622	グローバル社会で活躍するために -国際派の先輩をお招きして-	高橋 辰宏		0-0-0	火 7.8 50 39
7	79357	観光経済学と地域ブランド	田北 俊昭	0-0-0	0-0-0-0	水 3.4 42 40
8	79361	山形の食を考える	石垣 和恵/三原 法子/藤田 洋治	••••	••••	水 5.6 16 41
後 9	79370	キャリア形成とワークライフバランス	井上 榮子			水 7.8 50 42
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
期 10	79458	歴史民俗資料を読み解く	阿部 宇洋			木3.4 30 43
11	79469	人間の生活と食の安全・安心Ⅱ	長谷 修/小笠原宣好/ 角田 憲一	• • • •	•-•-•	木7.8 20 44
12	79554	近代文学の中の山形	森岡 卓司		0-0-0	金3.4 30 45
13	79558	世間の歩き方	小倉 泰憲		0-0-0	金5.6 20 46
14	79559	新聞で山形を知る	山本 陽史	0-0-0	0-0-0	金5.6 50 47
15	79568	仕事の流儀~プロから学ぶ仕事のやりがい~	松坂 暢浩/山本美奈子			金7.8 160 48
16	79901	雪とともに生きる体験	滝澤 匡/阿部 宇洋			集中 7 49
17	79901	地域のにぎわいづくり体験	滝澤 匡/阿部 宇洋			集中 7 50
18	79903	やまがたフィールド科学Ⅱ(雪との共生-雪国の自然と生活-)	ロペス・ラリー			集中 30 51



「山形から考える」の各授業では、学問としての知識や技術に加えて、山形各地の魅力に出会えます。 他県出身の学生が山形に興味を持ち、4年間を通じて自ら探求するきっかけを見つけてくれること を期待しています。また、県内出身者にとっても、新たな山形の魅力に出会うことで故郷の素晴らし さを改めて感じる機会になることと思います。

```
前-2 PO8 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り
前-3 PO9 山形の歴史と文化
前-4 P10 地方で考える
前-5 P11 チャレンジ the ミッション I - 食で育む地域の語り場-
前-7 P13 フィールドワーク城下町
前-8 P14 山形の歴史と文化
前-9 P15 地域体験スタートアップ
前-10 P16 山形の水土里(みどり) 資源
前-12 P18 石造文化と祈り
前-15 P21 山形大学って何だろう?
前-18 P24 フィールドワーク・月山 - 景観から地域を読む-
前-19 P25 「地域 | と 「学校 | の関係から山形を考える
前-21 P27 山形から考える地域産業
前-22 P28 山形の森づくり体験
前-23 P29 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ (農業体験)
前-25 P31 山形から考える地域づくり
前-26 P32 フィールドラーニング-共生の森もがみ
    P33 フィールドラーニング庁内
    P34 山形と紅花の歴史
後-2 P35 雪国で考える
    P36 地域体験スタートアップ
    P37 山形の火山、世界の火山
    P38 山形の歴史と文化
   P45 近代文学の中の山形
後-16 P49 雪とともに生きる体験
後-17 P50 地域のにぎわいづくり体験
```

後-18 P51 やまがたフィールド科学Ⅱ(雪との共生-雪国の自然と生活-)

# 山形の方言と日本語

前期

担 当 教 員 中澤 信幸

曜 日 校 時 月曜日 3・4

#### 授業の目的

おしょうしな(ありがとう)一山形は方言豊かな地です。方言というと地域に密着した感じがしますが、 実は日本語全体や世界の言語を考える上でも重要な要素です。方言から言葉の歴史的変遷をたどる ことも可能です。この授業では山形の方言と日本語、世界の言語について学んだ上で、実際に方言 調査を行うことで、山形方言と日本語の実態について考えていきます。

#### 授業内容

前半では『山形方言』を始めとした方言と日本語、さらには世界の言語について考えます。 後半では、グループごとにまず学内で方言意識に関するアンケート・インタビュー調査を行い、成果 を発表します。そして【山形県内で方言調査を行い】、その成果を発表します。

第 1 回 講義の進め方とガイダンス

第 2 回 日本語の歴史と方言

第3回『山形の方言』

第 4 回 世界の言語と方言

第 5 回 グループ討論「方言とは?」

第 6 回 山形大学学生の方言意識について

第 7 回 グループワーク 「方言意識アンケート の作成し

第8回 グループ発表「アンケートの内容と目的」

第 9 回 グループ発表「方言意識に関するアン ケート調査の成果し

第10回 グループワーク 「方言調査シートの作成 |

第11回 グループ発表「方言調査シートの内容 と目的し

第12回【山形県内における方言調査】

第13回 グループワーク 「方言調査の成果発表 準備 |

第14回 グループ発表「山形県内における方 言調査の成果し

第15回 授業のまとめとレポートの説明

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形県全域



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

#### 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

方言を始めとした言葉は、自分で実際に見聞きすることで、初めてその存在を実感できます。自分の 足で出かけてアンケート・インタビューをすることで、言葉の多様性を体感してみませんか。 なお、調査に伴う交通費等は自己負担となります。

# 地域の知恵と科学の力でエコ社会創り

前期

担 当 教 員 大谷 典正

曜 日 校 時 月曜日 5・6

#### 授業の目的

生活を豊かにしてくれる化学製品と地球環境との共存への理解を深めるため、身近なプラスチックゴ ミに焦点をあてて現状と課題についての基礎的な知識を得ることを目的とします。具体的には、重大 な海洋汚染を引き起こすプラスチックゴミ削減にむけて家庭でできることは何か? また、正しいリサイ クルの方法は?ゴミ問題の現状を講義するとともに、化学実験を通して最先端のリサイクル技術への理 解を深めます。

また、身の回りには未利用バイオマス資源が豊富にあることを実験で体感するとともに、地元山形の リサイクル団体の活動を紹介しながら、地域の知恵から自分たち市民レベルで可能な活動方法につい て考えます。一方、みかんの皮に含まれるリモネンを利用した発泡スチロールのリサイクル化学実験 や、雑草からゴムを取り出す実験を体験して、「化学の力」を利用して「ゴミ・ムダ」から資源が生ま れることを学習し、自分の立場で地球資源を守るためになにができるのか理解を深めます。

#### 授業内容

- 毎回、物質文明と地球環境とを共存させてい くための諸課題について触れ、現状を認識す ることで、次世代を担っていく立場での問題 解決について考えます。
- リサイクルやエコに関する資料を中心に講義を 進め、最新の話題等の新聞記事も併用します。
- 諸課題に関する、個々人の考えをまとめてプレ ゼンテーションでの口頭発表を行い、聴講者は 発表内容についての質疑により理解を深めます。
- 化学的な手法によるリサイクル・エコ技術に 関する演示実験を通して、環境との調和を目 指すものつくり企業の取り組みを理解します。

#### ●日程

- (1) プラスチックゴミの問題 (プレゼンテーション発表)…5回
- (2) 企業が取り組むリサイクル (プレゼンテーション発表)…2回
- (3) 雑草からゴムを作る研究 …2回
- (4) 使用済植物性食用油から リサイクルせっけんづくり …2回
- (5) ナタネ油や使用済植物性食用油からの 自動車用燃料化…2回
- (6) まとめ (プレゼンテーション発表) …2回

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: **山形市**

NPO 法人による廃棄物・リサイクル (各 種リサイクル、使用済みの植物性油から BDF・粉せっけん作り)、エネルギー(再 生可能エネルギー) 利用について紹介し ながら、身近な地域での市民による知恵 を結集した取り組みを学びます。



# 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

#### 協働学習タイプ



#### 学生へのメッセージ

各課題毎に、各自で情報を集め独自の考えをまとめたプレゼンテーションを行い、積極的な議論に参 加してください。昨年度までに学生がまとめたテーマの一例は以下の通りです。

- 卵の殻を利用したエコ製品
- 廃食用油の活用について
- ●温泉発電で山形を豊かに

- フード・サルベージを広めよう! ●植物から作る「香るプラスチック」
- 食品トレーから考えるエコ社会 野菜シートで作る「ストロー」

# 山形の歴史と文化

前期

担 当 教 員 荒木 志伸

曜 日 校 時 月曜日 5・6

#### 授業の目的

山形について歴史・文化的視点から学び、地域への愛着を深める授業です。山形大学に在籍してい る期間はもちろん、卒業後も山形という土地とそこで触れた文化に少なからず影響されるところが多い はずです。「地域 | を知ることは、自らの生まれ育った場所を認識することであり、その結果として「自 己」を発見することでもあります。山形で生まれ育った人も、初めて来られた人も、本授業で山形に ついての理解を深めてください。

### 授業内容

毎回、山形の歴史や文化に関する内容を取り上げます。多くの映像資料などをパワーポイントを使用 しながらわかりやすく解説していきます。

第 1 回 ガイダンス

第2回 山形県の概要

第3回 山形の歴史・文化財① 山形の絵画・古文書

第 4 回 山形の歴史・文化財② 山形の考古資料

第 5 回 山形の歴史・文化財③ 山形の仏像

第6回 山形の歴史・文化財4 山形の建築

第7回 山形の歴史・文化財(5) 山形の日本遺産

第8回 山形の文化① 果物と在来野菜

第 9 回 山形の文化② 麺文化-ラーメン・蕎麦-

第10回 山形の文化③ GI山形-優れた日本酒-

第11回 山形の文化④ 伝統工芸

第12回 山形の文化(5) 附属博物館の見学

第13回 山形の歴史と人物① 最上義光

第14回 山形の歴史と人物② 上杉鷹山

第15回 山形の歴史と人物③ 授業のまとめ、 山形および山形大学に関わる人物

授業で学べる山形関連情報

対象市町村:

山形市、寒河江市、米沢市、村山市 舟形町、鶴岡市、酒田市、

新庄市、村山市



### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

「山形ってどんなところ? | と聞かれて、1つでも2つでも自らの表現で語ることができるようになってく ださい。山形には全国に誇る歴史や文化財、食文化が沢山あります。それらの内容と背景を学ぶこと で、山形を大好きになって頂きたいと思います。なお、担当教員は平成30年度ベストティーチャーを 受賞しています。

# 地方で考える

前期

担 当 教 員 東山 禎夫

曜 日 校 時 月曜日 7・8

#### 授業の目的

人口減少のひずみと高齢化が進んでいる地方では、産業の空洞化、雇用の喪失、インフラの衰退な どの問題が深刻化しています。人口減少先進地の山形県が現在抱える課題解決に向けて、若者の視 点から産業のありかた、人の生き方を考えながら、豪雪地帯である米沢市を事例にとり、地域の活性 化、地域創生の方法について探ります。

### 授業内容

少子高齢化社会に関する 講義、山形県米沢市の職 員による講演・質疑応答 から解決すべき課題を確 認します。また、現地を 訪れ、住民との意見交換 を行いながら課題を深く 掘り下げます。課題解決 に向けてアイデアを出し 合い、グループ討論を行 いながら、実現可能な解 決法を見出し、市役所職 員、市民に対して課題解 決の提案を行います。



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 米沢市



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

協働学習タイプ

### 学生へのメッセージ

教室での講義とグループ討論を経て、実現可能なアイデアを提案します。仲間とのコミュニケーション 能力と発想力が求められます。考える力はすぐにはつきません。考えるときは言葉を使いますので、本 を読む習慣をつけるともに、色々な本から言葉を獲得していく必要があります。仲間とのグループ討 **論でも、相手が理解できる言葉を自分の中に積み上げていく機会となりますので、グループ活動を積** 極的に利用して下さい。

# チャレンジ the ミッション I

前期

-食で育む地域の語り場-

担 当 教 員 一 鈴木 拓史/三原 法子

曜 日 校 時 月曜日 9・10

#### 授業の目的

市民活動団体「山形でのひら支援ネット」の活動として取り組まれている「子ども食堂・地域食堂」のボランティア活動を通して、地域の課題に目を向け、その課題を解決するための取り組みに実際に参加することで、支援の在り方や支援の方法などを学ぶことを目的とした体験型授業です。

#### 授業内容

食の支援ボランティアとして活動に従事するための基礎的な知識を習得後、実際にボランティア活動 に従事します。その後、活動内容についてスライドを作成し、報告会にて発表します。

- 第 1 回 ガイダンス・これまでの活動状況
- 第 2 回 グループ分け・活動内容と諸注意
- 第 3 回 場面毎の子どものサポートの仕方・基本姿勢
- 第 4 回「貧困」事例を学ぶ(DV、セクシャルマイノリティ、外国人等)
- 第 5 回~第14回まで

【活動時間:15:00~19:00(おおよそ4時間)】

各班 (3~4人) に分かれて、ボランティア活動に従事します。(最低3回の参加)。参加日程 については、活動団体より日程照会があった後に決定します(おおよそ2回/月:月曜日と土曜日の頻度で開催)。

#### 【活動内容】

- ・食事調理 ・配膳補助 ・学習支援 ・参加者との交流 ・レクリエーション活動
- ・団体の活動へのフィードバック

第15回 活動報告会(班ごとに発表スライドを作成し、口頭発表)

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: **山形市**

山形市で食の支援を実施している市民 活動団体の活動にボランティアとして 参加します。山形における支援の在り 方や食を通したコミュニケーションの 大切さをボランティア活動を通して学 ぶことができます。



# 地域学習タイプ



# 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

「食べ物」は人々の生活において一番身近な存在です。その支援に携わることで、地域に暮らす方々との食事を通したコミュニケーションや新しい気付きをも得ることができます。

# 世間の歩き方

前期

担 当 教 員 小倉 泰憲

曜 日 校 時 月曜日 9・10

#### 授業の目的

本授業は日本社会に特有の側面である「世間」について学んでいきます。世間は日本中のいたるところ、大都市や地方に、広い範囲のものから、狭いものまで、様々な形で浸透しています。世間においては、人々がお互いに助け合うという特長もある一方、生きづらさを感じさせる特徴も持っています。山形で学ぶということは、山形における世間を知る絶好の機会です。本授業では学生一人ひとりにとっての世間に着目し、今、山形大学で学ぶということを通じて自分の世間を客観的に表現でき、世間とうまく付き合えるようにしていくことを目的とします。

#### 授業内容

第3回までは世間に関する基礎的な講義と世間の研究方法を説明します。その後、グループ別に取り組みテーマを決めます。グループ規模は4名~6名程度とします。ただし、状況によっては1名で取り組むことも認めます。第5回以降はグループ(あるいは個人)単位で、調査・資料準備、プレゼンテーション準備、リハーサル、プレゼンテーションといった取り組みを行います。これを2セッション実施します。

- 1. オリエンテーション
- 2. 「世間|とは
  - ・なぜ世間を扱うのか ・世間とは(世間学、菊と刀) ・世間と社会
- 3. 世間の意識化(外在化と批判的思考)
  - ・日本の、そして「山形のあたりまえ」を探る(男女差別、名刺交換)
  - ・日常の中の世間(「山形で | / 日本で:親子の関係)
  - ・学校の中の世間(群読、組体操、「空気よめ|「いじめ|「敬語|「人間関係」)
- 4. テーマ検討(全員で分類、テーマ配分)
- **5-14.** グループワーク
  - ・調査・資料準備 ・プレゼンテーション準備 ・リハーサル ・プレゼンテーション
- 15. 全体まとめ

# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: **山形県全域** 





# 個 人 グループ

### 学生へのメッセージ

日本の中での「あたりまえ」に違和感を持ったり、生きづらさを感じている人がいますが、これは「世間」によるものかもしれません。自分なりの問題意識を持って授業に参加することをお勧めします。

# フィールドワーク城下町

前期

担 当 教 員 阿部 宇洋

曜 日 校 時 火曜日 5・6

#### 授業の目的

山形市は霞城公園を中心とした城郭の名残がある都市です。これから大学生活を過ごす地域の魅力をみずから発見し、歴史的な、文化的な物の見方、文化財や景観から情報を取得し調査する方法、比較方法を身につけます。

#### 授業内容

基礎的な内容を講義した後、フィールドワークの計画をたてます。 その計画に基づき実際に山形市中心街をフィールドワークしても らい、レポート、発表をしてもらいます。 学生が主体となって山形市内を調査する講義です。

- 1. オリエンテーション
- 2. 山形の城下と絵図、地図、班編制
- 3. フィールドワーク1 (大学周辺)
- 4. フィールドワーク計画の作成 (グループワーク)
- 5. フィールドワーク2 (城下)
- 6. フィールドワークの結果をまとめる
- 7. みずからの関心事項の調査
- 8. みずからの関心事項の発表(レポート提出)



- 9. フィールドワーク3 (城下追調査)
- 10. 調査場所で興味があった事項を調査、まとめ
- 11. 発表計画
- 12. 発表作成1
- 13. 発表作成2
- 14. 城下の魅力を発表
- 15. リフレクション

### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: **山形市** 



# 地域学習タイプ



### 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

山形市は城下町として栄え、近江商人が様々な文化を運んできたといわれています。皆さんが少なくとも1年間は生活する山形市です。フィールドワークを通して城下町山形の魅力を一緒に探求、発見しましょう。

# 山形の歴史と文化

前期

担 当 教 員 荒木 志伸

曜 日 校 時 火曜日 9・10

#### 授業の目的

山形について歴史・文化的視点から学び、地域への愛着を深める授業です。山形大学に在籍している期間はもちろん、卒業後も山形という土地とそこで触れた文化に少なからず影響されるところが多いはずです。「地域」を知ることは、自らの生まれ育った場所を認識することであり、その結果として「自己」を発見することでもあります。山形で生まれ育った人も、初めて来られた人も、本授業で山形についての理解を深めてください。

#### 授業内容

毎回、山形の歴史や文化に関する内容を取り上げます。多くの映像資料などをパワーポイントを使用しながらわかりやすく解説していきます。

第 1 回 ガイダンス

第2回 山形県の概要

第3回 山形の歴史・文化財① 山形の絵画・古文書

第 4 回 山形の歴史・文化財② 山形の考古資料

第 5 回 山形の歴史・文化財③ 山形の仏像

第6回 山形の歴史・文化財4 山形の建築

第 7 回 山形の歴史・文化財(5) 山形の日本遺産

第8回 山形の文化① 果物と在来野菜

第 9 回 山形の文化② 麺文化-ラーメン・蕎麦-

第10回 山形の文化③ GI山形-優れた日本酒-

第11回 山形の文化④ 伝統工芸

第12回 山形の文化⑤ 附属博物館の見学

第13回 山形の歴史と人物(1) 最上義光

第14回 山形の歴史と人物② 上杉鷹山

第15回 山形の歴史と人物③ 授業のまとめ、

山形および山形大学に関わる人物

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村:

山形市、寒河江市、米沢市、 舟形町、鶴岡市、酒田市、 新庄市、村山市



# 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

# 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

「山形ってどんなところ?」と聞かれて、1つでも2つでも自らの表現で語ることができるようになってください。山形には全国に誇る歴史や文化財、食文化が沢山あります。それらの内容と背景を学ぶことで、山形を大好きになって頂きたいと思います。なお、担当教員は平成30年度ベストティーチャーを受賞しています。

# 地域体験スタートアップ

前期

担 当 教 員 滝澤 匡/佐々木 究

曜 日 校 時 水曜日 5・6

#### 授業の目的

- 人口問題を中心とした、日本全体及び地方(山形)の現状と将来的課題を講義により学習します。
- 山形の魅力的な歴史・文化・自然・人物・企業などを学習し、地方創生に繋がる地域の可能性を理解します。
- 大学周辺の地域活動に参加する地域体験により、地域の現状と課題を知ることができます。
- 講義でのグループワーク、地域活動での協働により、年齢や背景の異なる人々の組織で活動する 楽しみに出会え、社会人力を向上させることができます。

#### 授業内容

【全国および山形に関連する12回の講義】と【地域体験】(1日 程度) を行う。

義:地域の現状と課題、山形の魅力を複数の教員のリ レー形式により実施する。

地域体験:グループにわかれ、社会福祉協議会や子供育成会と 連携した小白川キャンパス周辺の地域活動に参加する。

- 1. ガイダンス
- 2. 日本の現状(1) + グループワーク
- 3. 日本の現状② + グループワーク
- 4. 地方(山形)の現状(1) + グループワーク
- 5. 地方(山形)の現状(2) + グループワーク
- 6. 地域学習にむけた心得 + グループワーク
- 7. 山形の魅力ある歴史 (学士課程基盤教育機構・阿部宇洋先生)

8. 山形の魅力ある自然 (地域教育文化学部・八木浩司先生)

- 9. 山形の魅力ある文化(阿部先生)
- 10. 山形の魅力ある人物 (地域教育文化学部・三上英司先生)
- 11. 山形の魅力ある企業 (学士課程基盤教育機構・松坂暢浩先生)
- 12. 山形の魅力ある農業 +【地域体験】(6月~8月の週末や休暇中に、

# 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村:山形市

講義による学習:

①人口問題を中心とした山形県の課題 ②山形の魅力ある地域資源

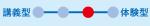
地域体験での学習:

①大学周辺の地域活動の運営の楽しみ ②地域が抱える課題と魅力



# 地域学習タイプ

大学周辺の地域活動へ1日程度参加する)



### 協働学習タイプ



### 授業PR

自分たちが暮らす地域がどのような人々により支えられているのか学び、将来自分たちが担っていく気 概を持ってくれるとうれしいです。

#### 【過去の受講者の感想】

15

- ●色々な先生の視点から山形の魅力を知ることができ、とても良い。
- ●グループワークでは自分の考えもつかないような意見や考え方をたくさん聞くことができ、とても刺激だった。 【授業評価】学生による授業評価は4.8/5(H30:O総合的に判断すると良い授業でしたか?)

# 山形の水土里(みどり)資源

前期

担 当 教 員 奥山 武彦

曜 日 校 時 水曜日 7・8

#### 授業の目的

農業を支える農業用水(水)と農地(土)、そして農村(里)を通して、地域の生活と密着した環境と 社会基盤について考えます。

#### 授業内容

農学部エコサイエンスコース、アグリサイエンスコースの6人の教員によるオムニバス方式の講義です。

第 1 回 講義の進め方とガイダンス

第 2 回 時代の証人・古い地形図や 空中写真を読む

第 3 回 大地の恵み・地下水資源

第 4 回 自然エネルギーと小水力発電

第 5 回 山形の河川が形成する環境と問題

第 6 回 山形の河川が形成する地域性

第 7 回 森と水の関わり合い

第8回 里山を活かした都市と農村の関係づくり ー『飯豊町・朝日町』を事例に ー

第 9 回 映像で見る様々な水田

第10回 水質問題と食料

第11回 流域による環境形成

第12回 農業土木遺産と伝統技術

第13回『山形五堰』に関する基礎知識

第14回 庁内平野の農業用水と雪

一地球温暖化による影響は?一

第15回 まとめ

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村:山形市、朝日町、飯豊町

山形市: 扇状地に発達した街地の特徴や水 利用。400年の歴史をもつ農業用 水路 「山形五堰 | が現在では市内の 親水空間として親しまれています。

朝日町: 椹平の棚田 飯豊町:中津川地区に根付く里山文化



# 地域学習タイプ

# 講義型 — 体験型

### 協働学習タイプ



# 学生へのメッセージ

山形駅~小白川キャンパス~清明寮が坂道なのはなぜ? キャンパス内のグラウンド脇の水路はどこか ら来ているの?

県庁所在地でありながら落ち着いたたたずまいの山形市は水辺空間が似合う、水・土・里の街です。 初めて山形に来た人も、本講義で取り上げた所のウォッチングに出かけてみましょう。

# 地域の中の大学

前期

担 当 教 員 橋爪 孝夫

曜 日 校 時 水曜日 7・8

#### 授業の目的

皆さんが毎日通っている大学は地域社会の中に深く根を下ろしています。しかしその関わりが当事者である学生自身には見えづらいことも事実です。縁あって山形大学に学ぶこととなったこの機会に、自分達の住む地域と通う大学の関係を題材に、世の中における物の見方、考え方を学びましょう。世界を知ることで改めて自分を知り、生涯の学びを豊かにする手がかりを掴むことが目的の授業です。

#### 授業内容

『山形県における大学と地域の関係を主たるテーマとしたグループ協働による課題探究型学習』を行います。

グループ協働学習により、自立した個人として社会の中で自らの能力を活かし、その役割における責任を果たすという公共精神に則った態度・志向性の養成を目指すものです。

地域と大学の関係をテーマとし、知識・理解を深めるとともに大学での学びを社会生活に応用する機会ともなります。

- 1. チーム分け、講義の進め方とガイダンス
- 2. テーマの中での考究課題の設定と全体の運営について
- 3. 全体スケジュール、担当グループ、発表順の決定
- 4-7. 各グループの企画発表と予備討論
- 8. 中間報告会
- 9-13. 最終報告会に向けての準備
- 14. 最終報告会
- 15. 振り返りと評価



### 学生へのメッセージ

皆さんは大学を卒業した後、身につけた力を世の中にどのように活かすのでしょう。この授業での活動は現段階での力試しです。そして人は一人では生きていけません。人間が社会的な生き物である以上、その力を発揮するためには、様々な形で他者との協働が必要となります。 授業を通して個の力を世の中で活かす術を身につけましょう。

# 石造文化と祈り

前期

担 当 教 員 荒木 志伸

曜 日 校 時 水曜日 9・10

#### 授業の目的

石造文化財を通じて、それらに対する民衆の信仰を取り上げて考察する授業です。山形には、独特の石造文化財が多く残っています。具体的には石仏、磨崖仏、板碑、五輪塔、層塔、宝篋印塔、多宝塔、庚申塔、石塔婆、墓標、道祖神、草木塔等を取り上げて、外部講師による講義を含めて学習します。そのうえで、民衆の信仰や生活・社会と関連づけながら考える機会を経て、現地で石造文化の実習をおこないます。特に草木塔には焦点をあて、フィールドワーク・現地実習で自ら観察し、その歴史的な理解を深める機会とします。

#### 授業内容

- 第7回目まで、講義で石造文化に関する基礎的な知識を得ます。
- 第8~10回目で学内フィールドワーク・ディスカッションをおこない、現地実習参加前の学習の機会とします。
- 第11 ~ 14回目(6月22日か29日を予定)で、米沢市で現地実習をおこないます。草木塔をはじめとする石造文化や博物館で地域に関する資料を直に観察する機会です。
- 現地実習への参加は必須となります。そこでの経験をもとに、自らが考察したレポートを提出していただきます。



### 学生へのメッセージ

山形には独特の信仰形態がたくさんあります。その謎を一緒に考えていきましょう。現地実習の参加 費等は自己負担となります。なお、担当教員は平成30年度ベストティーチャーを受賞しています。

# 先史時代の山形を訪ねる

前期

担 当 教 員 日石 哲也

曜 日 校 時 木曜日 3・4

#### 授業の目的

山形をフィールドとして、過去の人類の歩みを通し、現代社会における文化や環境など様々な問題について考えることで、複眼的視野から物事を考察するための基礎的な力を身に着けることを目的としています。

#### 授業内容

- 講義・グループワークおよびフィールドワークを組み合わせて行います。
- フィールドワークでは、実際に考古資料を見学し、遺跡の現地踏査をします。

第 1 回 ガイダンス

第 2 回 考古学とは何か

第 3 回~第 5 回

現地調査(山形県立博物館、西沼田遺跡公園など)

第 6 回 各論(1):旧石器時代

第 7 回 各論(2):縄文時代

第8回各論(3): 弥生時代

第 9 回 考古学の方法論:

遺跡立地、出土遺物観察(山形大学附属博物館にて)

第10回 遺跡巡検のための準備(1)

第 11 回 遺跡巡検のための準備(2)

第12回~第13回

遺跡巡検(うきたむ風土記の丘考古資料館や日向洞穴など)

第14回 先史時代の山形を考える: 発表

第15回 まとめ





#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村: 山形県全域

山形県における先史時代について学びます。そのなかで、いくつかの洞穴 遺跡や縄文集落などを踏査します。



### 地域学習タイプ



協働学習タイプ



# 学生へのメッセージ

本授業では、山形県内の先史時代 (旧石器~弥生時代) を中心に、実際の遺跡を巡り、考古資料に触れながら、当時の社会や文化について考えていきます。自らの足でフィールドに立ち、歴史を体感しましょう。

# 人間の生活と食の安全・安心Ⅰ

前期

担 当 教 員 片平 光彦

曜 日 校 時 木曜日 7・8

#### 授業の目的

農学的な視点から人間の生活と食の安全と安心を考察します。

#### 授業内容

各専門分野(生産機械学、果樹園芸学、動物生態学)の教員が担当します。

- 生産機械学:「農業機械学の視点から見た人間の生活と食の安全・安心」について学びます。
- 果樹園芸学:「果樹園芸学バイテク分野の視点からみた人間の生活と食の安全・安心」について学びます。
- 動物生態学:「動物生態学の視点から見た人間の生活と食の安全・安心 | について学びます。



### 学生へのメッセージ

授業担当者によって違った視点からの問題提起があります。それらを基にして皆さんが自分自身の考え方、ものの見方を深めてください。

# 山形大学って何だろう?

前期

担 当 教 員 山本 陽史

曜 日 校 時 金曜日 3・4

#### 授業の目的

あなたは山形大学のことをどのくらい知っていますか? そんな問いに対してあなた自身が答えを出す 授業です。山大生の皆さん自身が山形大学のなりたちや現在の姿を調べ、その魅力を外部に広く発信 していきます。

#### 授業内容

授業では、以下のことのための準備を行ったり、必要なスキルを学びます。

- 1. 2019年8月2日(金) 開催予定の工学部オープンキャンパス、8月3日(土) 開催予定の小白川キャンパスオープンキャンパスで保護者向けに説明会を運営し、その中で山形大学についてのプレゼンテーションを行います。
- 2. 「パンフレット『山形大学って何だろう? 2020』を編集・出版し、来年度の新入生全員や高校に配付 | します。
- 3. 授業時間内に小白川キャンパスを訪問する高校の生徒や PTA 会員に対してキャンパスを案内したり、山形大学についてプレゼンテーションをしたりします。
- 4. ジュニアキャンパス (小白川キャンパスの中学生向け大学開放行事) のサポート、近隣の高校等に 出向いて高校生の課題学習の手伝い等をお願いする場合があります。

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形市、米沢市、鶴岡市



# 

### 学生へのメッセージ

この授業は特に以下のようなあなたへの特効薬です。センター試験の成績とか、地元だからだとか、周囲の勧めでとか、自分の意思よりも別の理由で入学した人/入学したけれど正直「ちょっと不本意」と思っている人/大学に入る目標が実現してしまい、実は次の目標が見つからない人/自分が学ぶ大学のことを知りたいけれどどこから手をつければいいのかわからない人……えいやっとまとめると、何かもやもやした気分を持っているあなた、山大について深く知ることですっきりした気分になりましょう。もちろん山大をさらに深く知りたいというあなた、プレゼン能力を伸ばしたいあなた、書籍編集を通し得意(あるいは苦手?)な文章・写真・イラストの才能を発揮したいと思っているあなたも歓迎です。

# 新聞で山形を知る

前期

担 当 教 員 山本 陽史

曜 日 校 時 金曜日 5・6

#### 授業の目的

社会や文化の動きを知るのに新聞ほど役に立つメディアはありません。速報性ではテレビやインターネットにはかないませんが、事件の背景の分析や専門家の見解など、その本質を理解する参考となる記事が新聞には掲載されます。つまり社会現象を深く掘り下げるのに適しています。この授業では【山形県全域をカバーする山形新聞の記事を題材にして、山形の社会・文化の現状についてのニュースを読んで分析】するとともに、「山形から見ると日本・世界はどう見えるか、その動きが山形とどのようにかかわっているのかを分析」していきます。また、新聞の文章はコミュニケーションのための日本語としてはとても上質なものです。授業のレポートや、就職のためのさまざまな文章を書く際に大いに参考になりますので、文章についても分析し、それを模範にした文章のトレーニングもします。

#### 授業内容

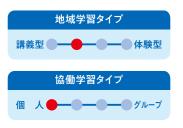
毎回当日の山形新聞を中心に、タイムリーな新聞記事を取り上げ、その記事の背景を解説するとともに、その記事を手がかりにして調査や話し合いをします。また、何回かは全国紙(読売・朝日・毎日など)やブロック紙(河北新報)と同じ話題を取り上げた記事を取り上げ、比較します。また、新聞の文章を分析し、それにならって新聞記事風のレポートを書いていただきます。出しっぱなしではなく、添削を加え、また授業中に提出されたレポートを例示し、改善すべき点を検討しながら、各自の最終レポートを仕上げていきます。

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: **山形県全域**

県内で起きているさまざまの社会現 象や文化活動、山形が現在置かれてい る状況、山形の歴史や将来像などを知 ることができます。





#### 学牛へのメッセージ

新聞を読むのは億劫だという人の参加も歓迎します。新聞なんて読まなくてもネットでニュースはわかるから新聞は不要という考えは安易すぎます。新聞は単にニュースを伝えるための道具ではありません。 理系文系を問わず、社会常識を知り、新聞記事のような文章を書けるようになることは社会人になるため、社会人として活躍するためになる武器を手に入れたことになるのです。将来の就職活動に向けて、かならず役に立つ授業です。

# Jリーグと地域社会

前期

担 当 教 員 下平 裕之

曜 日 校 時 | 金曜日 7・8

#### 授業の目的

スポーツは文化であると同時に経済活動でもあります。この授業ではそのような観点から、リリーグや モンテディオ山形をテーマに、プロスポーツクラブのマネジメント(経営)のあり方や、スポーツと地域 社会との関係について学び、今後の課題について考えることを目的とします。

#### 授業内容

ワークショップ方式による通常の授業に、モンテ ディオ山形のスタッフを講師に招いての体験授業や NDソフトスタジアムでの現地体験授業 (試合観戦 を含む)を組み合わせ、プロスポーツクラブの経営 のあり方、地域社会づくりに果たす役割などについ て勉強します。

通常の授業はワークショップ方式 (ミニ講義とグルー プワーク) で行い、学習の成果はレポートにまとめ て提出すると同時に授業でも発表(プレゼンテー ション) してもらいます。



#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: **山形**県

(モンテディオ山形のホームタウン)

- ・モンテディオ山形スタッフの講演を通じ て、プロスポーツの経営のあり方や地域 における役割を学べます。
- スタジアム体験授業やボランティア体系 により、実際の試合の運営の仕組みやサ ポーターの意識・考え方が理解できます。



#### 地域学習タイプ

講義型 体験型

協働学習タイプ

### 学生へのメッセージ

この授業はモンテディオ山形のスタッフの皆様やサポーターとの交流、試合観戦などを通じて、プロス ポーツクラブの魅力や課題をより身近なものとして体験することを目指しています。サッカーが好きな 人、スポーツが好きな人、これから考えてみたい人など、様々な皆さんの参加をお待ちしています。

# フィールドワーク月山

-景観から地域を読む-

担 当 教 員 八木 浩司

曜 日 校 時 | 金曜日 7・8

#### 授業の目的

山形県の中心に位置する独立峰・月山の自然環境、防災科学、人文科学的知見の学習を通し て、山形の有形・無形資源としての月山を学際的に分析します。そして、ほかの地域に対して同様な multidisciplinary 分析が行えるように学びます。

#### 授業内容

4・5月は教室での座学で月山に関する基礎知識を 学びます。それら基礎知識を基に、関心のある分 野ごとに履修者らがグループを構成し、フィールド 学習のテーマを選びます。さらにグループ毎に選ん だテーマについて自ら研究を深め、その成果のプレ ゼンテーションを行い、質疑を通して履修者全員 に月山で学べることの理解を深めていきます。最終 的には、週末を利用した集中講義形式で実施する フィールドワークで、学んだことを確認するとともに、 机上で学んだ知識と現場で見たり触れたりする現象 とのギャップを知ることで理解を深めていきます。



前期

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村:

西川町、鶴岡市、庄内町、鶴岡市 戸沢村



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

協働学習タイプ

### 授業PR

多分野学際的な授業になるので、様々な現象を繋げる柔軟性と思考の切り替えが必要です。授業形 式以外に、フィールド学習を行うので歩いて学ぶ姿勢が必要です。

この授業では、テキストに書かれていることのみを覚えるのではありません。フィールドにおいては、そ れらの現象は、他の現象と渾然となっていることから、意識しないと見つけ出すことは困難です。単な る断片的な知識としてではなく、意識によって他の知識とも関連づけ可能なものとしていくことを学ん でください。

# 「地域」と「学校」の関係から山形を考える 前期

担 当 教 員 野口

曜 日 校 時 | 金曜日 7・8

#### 授業の目的

- これからの時代において、地域と学校はどのような 「共生 | 関係を目指していくべきなのか、という 点についてそれぞれの立場や役割について具体的な様子を基に考察していきます。
- 山形における実際の地域と学校の「共生」を求める取り組みを分析するとともに、これから現代社 会の価値の多様化、グローバル化等の大きな変化に対応することを見通して、学生生活でどのよう な学びを深めていくべきか、考察することを目指します。

### 授業内容

まず、「地域」とは何か。「学校」とは何をするとこ ろか、ということについて様々な情報と学生の皆さ んの経験を通して考察します。次いで、「地域から 学校が無くなる | という現象について全国各地の事 例を通して分析します。さらに、山形県内における 「地域と学校の共生 | に関する事例について検討し ていきます。特に、朝日町において実際に取り組ん でおられる方をゲストに招いて具体的な様子につい てお話をうかがいます。最後に、全員がグループに 分かれて、「自分たちが将来山形で生活をした場合、 学校とこのようなかかわりを提案していきたい | とい う「計画書 | を作成し、全体討論を行います。詳 細についてはオリエンテーションで紹介します。





#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 朝日町

朝日町における「地域」と「学校」とが 相互に関連し合い、地域の暮らしの豊 かさを追究していく実際の取り組みに ついて、ゲストの講話や資料などを分 析する活動から学びます。



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

#### 協働学習タイプ

個人の一の一のグループ

# 学生へのメッセージ

「山形において地域と学校との共生のあり方を本格的に考える」というプランを作り、発表することが ゴールとなります。そのため、自分のこれまでの人生経験と各種の資料のもたらす内容とを比較しな がら「自分だったらこうしたい」といった、自分らしさを出していくような積極的な取り組みを期待して います。

# フィールドワーク 山形で働く魅力

前期

担 当 教 員 松坂 暢浩/山本美奈子

曜 日 校 時 | 金曜日 9・10

#### 授業の目的

本授業は、早期からの就業体験を通して、キャリア意識と学習意欲を高め、働くとは何かを考えるこ とを目的としています。また次年次以降のインターンシップに向けた準備段階と位置付け、【山形県内 の中小企業(山形県中小企業家同友会加盟企業)および官公庁で3日間インターンシップをプレ体験】 を行います。

### 授業内容

- 事前・事後学習とインターンシップ参加を組み合 わせて実施します。
- 平日に隔週で事前準備のための授業を行います。 インターンシップは、基本的に夏休み期間中に3 日間になります。また参加後に体験の振り返りと 成果報告会を行います。
- 本インターンシップは、教育的効果が高い取り組 みとして、文部科学省より表彰を受けています。 (全国1位として最優秀賞受賞)



#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 山形県全域

山形県内の中小企業で働く魅力が 学べます。



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

協働学習タイプ

個人の一〇一〇一〇グループ

# 授業PR

- 教員独自のアンケート調査で、本授業に満足した学生が全体の約9割、中小企業のイメージがポジ ティブに変化した学生が全体の約8割という結果でした。
- 履修した先輩の感想(アンケートの感想から一部抜粋)

「今回のインターンシップでは、初めての経験ばかりで3日間毎日がとても新鮮で仕事の大変さや働 くことのやりがいを知ることができ、自分に足りないことを見つけ、将来についてもっと考えていか なければならないと感じることができました。|

「働くにあたって、ただ働くのではなく、働く意味を理解し、それに向かって自分は何をすればよい のか考えることが大切であると学ぶことができた。|

「中小企業は明るく温かい雰囲気であるいうことを知りました。|

# 山形から考える地域産業

前期

担 当 教 員 吉原 元子

曜日校時集中

#### 授業の目的

- 地域産業のあり方は、地域の雇用、生活、社会、文化のあり方と密接に関係します。そのため、 地域を支える産業の見方を知り、その姿を正確に捉えることが大切です
- 山形の将来を展望するために、地域産業の実態を知ることが授業の目的です。
- 地域産業をデータから把握します。
- 地域産業の中でも「ものづくり」の現場を、五感を使って確かめます。

#### 授業内容

事前学習、フィールドワーク (工場見学)、グループでの検討、プレゼンテーションという流れで地域産業への理解を深めます。

- 1. オリエンテーション 地域産業と地域経済
- 2. 地域経済分析システム (RESAS) から地域産業 の特徴を把握する
- 3. フィールドワークの準備-地域・企業の事前学習
- **4.** フィールドワーク実施 -山形県内のものづくり企業を訪問
- 5. グループ単位による調査結果の集約、 分析、ディスカッション
- 6. 成果発表および質疑応答



#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: **尾花沢市**

- ・地域経済分析システム (RESAS) から 山形県の産業の特徴を知ります。 ・フィールドワーク (工場見学) は、尾
- ・フィールトリーク(工場見字)は、『花沢市の企業に訪問する予定です。



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

#### 協働学習タイプ



### 授業PR

- 教員からメッセージ:実際に手を動かしてデータを扱ってみる、事前学習で疑問を発見する、工場の現場を体感する、企業の方に質問をするなど、五感を使って学ぶことで山形県の産業の新たな一面を発見することができるでしょう。文系・理系の学生を問わず、地域産業や製造業に関心がある方にはぜひ受講していただきたいと思います。
- 工場見学をした受講者の感想:今まで体験したことがないものをたくさん感じることができてとても勉強になった/自分の地元の産業にも興味を持ち、考えてみようと思わされた/工学部の自分の興味と重なるものや技術も多く見ることができ、今後の自分の勉強に生かすことができそうで満足している。

# 山形の森づくり体験

前期

担 当 教 員 滝澤 匡/阿部 宇洋

曜日校時集中

#### 授業の目的

- 下草刈りや歩道敷設など森林整備作業を行い、山形の豊かな自然を体験的に学習します。
- 山形の魅力を五感で学び、深みある知識として修得することで、山形や地域への関心を高めてくれることを期待しています。
- 学外の方々とグループで作業することを通じて、組織で活動する際に必要なコミュニケーション力や、 自ら作業を見つけ出す行動力を向上させることができます。

### 授業内容

NDソフトウェア株式会社-山形県-南陽市が共同で行う森林整備活動「こもれびの郷プロジェクト」に参加します。5月~9月にかけて月に一度(土曜日)森に入って活動し、鉈(ナタ)・鋸(ノコギリ)・鎌などを使い下草刈りや歩道敷設を行います。夏場の野外作業になりますが、女子学生(過去受講者の約半数を占める)や女性社員の方々も楽しく活動されています。

● 日程 1. ガイダンス→2. 履修決定→3. 事前打合 せ→4. 現地での演習 5月~9月 合計5日間



#### 授業で学べる山形関連情報

### 対象市町村:

南陽市

森林整備作業を通じて山形の豊かな自然を学びます。



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

協働学習タイプ

個人の一〇一〇グループ

### 授業PR

地域の方々とともに汗を流す協働作業を通じて、社会で求められる力を向上できる授業としても、学生たちから好評です。

【過去の受講者の感想】●自然を想い、守る心を感じることができた。●山形でしかできない本当に貴重な経験ができた。●森での作業では自分から主体的に動かないといけない場面が多く、考えて行動することの重要性を感じた。●1つの目的に向け、多くの人と協力して作業する難しさと楽しさを知ることができた。

【社会人力の向上】学生自身によるコミュニケーション力やチームワークなどの評価が3.2 (受講前) →4.1 (受講後)と変化

【授業評価】学生による授業評価は4.8/5 (H3O:Q総合的に判断すると良い授業でしたか?)

# 農業・農村の技術とマネジメントを学ぶ <sub>前期</sub> (農業体験)

担 当 教 員 小沢 亙

曜日校時集中

#### 授業の目的

庄内地方の農家に宿泊して現場での農業生産業務を経験することで、現代農業の現状や問題点を理 解し、就労について考えます。

#### 授業内容

夏季休業中に5泊6日程度、グループで農家に泊まり込み、 農作業を体験します。

体験先、体験の日程については、受け入れ先との調整によ り決定します。

農作業体験内容は受入農家によって変わります。

4月11日 説明会と受講申込み 7月中旬 事前ガイダンス

夏季休業中 農業体験(5泊6日の予定)

移動、直前ガイダンス、受入農家との対面

2日目~5日目 農家での農業体験

6 日 目 農家での農業体験、閉講式(終了後解散)





#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 鶴岡市、酒田市、

三川町、庄内町、遊佐町



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

#### 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

受入農家では、集団で体験・生活することになり、実際の農業生産業務を通じて農業の実状を学び、 農業、農学について友人と話し合うよい機会になります。

鶴岡までの交通費が個人負担となる予定です。

講義の詳細は4月11日(木)12:10~12:50に212教室で行う説明会で説明します。

# つまずきから学ぶリーダーシップ

前期

担 当 教 員 阿部 宇洋

曜日校時集中

#### 授業の目的

リーダーシップは特別な理論ではなく、日々の生活に存在します。これから、学生生活、社会生活を 送るために、必要な力です。一般的な認識ではカリスマ型リーダーシップをモデルにする場合が多い です。しかし実際に必要とされるのは、関係性リーダーシップであり、本講義では山形で活躍する様々 なゲスト講師を招き、リーダーシップの本質を探りながら各自の今後の目標を設定し成長できるように なることを目的とします。

### 授業内容

4日間で行う集中講義になります(オリエン テーション1回、集中講義3日)。

ゲストを変えながら、下記項目を6回(1日2 回) 実施します。

- 講義 (30分)
- ゲスト講師講演(1時間)
- 話を聞いて、まとめと質問を考える(30分)
- ゲスト講師との議論(1時間)
- 全体のまとめ、発表(30分)





#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 山形県全域

全域対象とした、ゲスト講師との



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

### 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

昨年度は「リーダーシップ論入門1 | として開講した講義です。昨年の授業評価アンケートでは、「こ の授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか。 | において4.8 (5点満点) の評価を得た人気 の講義になります。山形県を代表する方から講義して頂き、これから皆さんが体験するであろう「つま ずき | をどのように理解し、解釈し、乗り越えるのかを学びます。そのつまずきがリーダーシップにとっ ていかに大切かを学びます。

また、ゲスト講師と話し合い、理解を深めます。

# 山形から考える地域づくり

前期

担 当 教 員 村松 真

曜日校時集中

#### 授業の目的

地域づくりは、地域の問題を明らかにし、計画的に解決していくことです。そのためには、地域住民が同じ問題意識を共有しお互いに協力しながら取り組んでいくことが大切になってきます。地域の問題は、地域の現実を直視することによって見えてきます。

本授業は、学生主体型授業であり、山形県を対象として多種多様な地域の現状を把握する方法論を学び、県内各地で展開されている地域づくりについて考えていきます。

さらに、身近な地域 (山形市大曽根地域を予定) を題材として地域づくりの実習を行います。特に、地域づくりにとって重要な構成要素である計画作成 (Planning)・事前評価 (Simulation)・実行 (Do)・事後評価 (See) という4つの部分について現地視察・調査を踏まえて構築できるようになることが目的です。

#### 授業内容

本授業では、県内各地の多種多様な問題を取り挙げ整理し、これらの問題に対応し県内各地で実施されている地域づくり事例について講義するとともに、具体的な地域を対象とした実習・ワークショップ・討論を行い、現地社会で展開されている地域づくりの実態と比較しながら地域づくりに対する理解を深めていきます。

具体的な日程としては、8月8日(木) ~8月10日(土)の3日間の集中講義とします。1日目は、オリエンテーションと山形県内を対象とした地域づくり事例を中心に講義と討論を行います。2日目は、山形市内大曽根地域で実習を行います。最終日(3日目)は、実習を踏まえてワークショップと議論を行い、最後に3日間のまとめと補足説明を行います。

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 山形市(大曽根地域)

山形県内各地の問題・課題を理解 するとともに、地域の現状の把握 方法、地域づくりを具体的に進め るための方法を学びます。



# 地域学習タイプ 講義型 ―――― 体験型

#### 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

地域の問題を知ることは、そこで展開される地域づくりの中心的な題材を見つけることです。地域づくりは、全国どこでも取り組まれており、地域住民が自ら参加し自ら取り組まれており、このことは、正に、地域で生きることであると言えます。

この学生時代に、地域を考えるとともに地域づくりを学び、地域で生きるということはどうゆうことかについて考えてみてはどうでしょうか。皆さんの学びをできる限りサポートしたいと思います。

# フィールドラーニング -共生の森もがみ

前期

担 当 教 員 阿部 宇洋/小田 隆治

曜日校時集中

#### 授業の目的

自然豊かな最上広域圏でのフィールドラーニングを通して、地域の文化や歴史、自然等だけでなく、 過疎化、少子高齢化等の現代日本が直面する諸問題を地域の人たちと共に学び、実践的な視点から 知識を獲得し、山形から日本、世界及び過去から、現在、未来の空間及び時間軸で現象を把握する 力を養います。

### 授業内容

学期当初に地元講師が各プログラムの説明を行います。16のプログラムからあなたが望むプログラムを選択します。プログラム決定の後、本授業のメインディッシュである土・日曜日に現地で行われるフィールドワークに2回参加します。学期末に全体発表会が行われます。



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村:

新庄市、金山町、最上町、 舟形町、真室川町、大蔵村、

鮭川村、戸沢村



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

協働学習タイプ

個人の一〇一〇ケループ

### 学生へのメッセージ

この授業は2006年に始まり、これまで延べ3.000人以上の学生が履修しています。

最上広域圏は、学生のみなさんを温かく迎え入れてくれるでしょう。是非、もがみを見て、聞いて、感じて(味わって)、「共生の森 | のパワーを体全体で吸収してきてください。

# フィールドラーニング庄内

前期

担 当 教 員 阿部 宇洋

曜日校時集中

#### 授業の目的

日本海側の庄内でのフィールドラーニングを通して、地域、文化、歴史、過疎化、少子高齢化等の現代日本が直面する諸問題を地域の人たちと一緒に考えます。実践的な視点から知識を獲得し、山形から日本、世界及び過去から、現在、未来の空間及び時間軸で現象を把握する力を養います。

#### 授業内容

この授業は、オリエンテーションから始まり、事前 学習の後、2泊3日のフィールドラーニング(今年度 は酒田市を予定しています。)、事後学習を行いま す。フィールドラーニング終了後にレポートを提出し てもらいます。また、フィールドラーニング終了後に は、学びの成果を示す「報告会」を行います。これ ら全ての活動が成績評価の対象となります。





#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: **酒田市** 



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

#### 協働学習タイプ

個人一一一一グループ

# 自由記載欄

庄内は日本海に面した海産資源豊かな地域であるとともに、強風に悩まされた地域でもあります。 今年度は酒田市を対象としてフィールドラーニングを実施します。

野外調査や地域活動、みずから考える力を育みたい学生は受講してください。

# 山形と紅花の歴史

後期

担 当 教 員 岩田 浩太郎

曜 日 校 時 月曜日 1・2

#### 授業の目的

山形県村山地方の歴史を学びます。とくに今日に至る村山地方の風土や特徴が形成されたと思われる 江戸時代~明治時代に焦点をあてます。全国史とは異なる地域史の視点を学び、現代の地域活性化 の諸条件を検討するうえでの地域史の意義を理解し活かせるようになります。

#### 授業内容

- 担当教員が長年調査してきた古文書の調査研究や文化財保存・活用の取り組みについて具体的な事例を示しながら講述します。
- 最上紅花のDVDや地域での取り組みの画像などを観覧し、現場の実践を知ることを大切にしながら講義を進めます。
- 講義をふまえて山形県村山地方の歴史で関心をもった事項につき調べ、小レポートを作成してもらいます。受講生が自らフィールドワークを行ってください。

#### 日 程

第 1 回 講義の進め方とガイダンス

第2~3回 山形県村山地方の特徴と風土

第4~5回 全国と地域の関係

第6~7回 最上紅花・養蚕業など産業文化の展開

第8~9回 日本一の紅花商人

第10~11回 農業構造と階層分化

第12~13回 地域の発展と衰退の諸条件

第14回 旧家と町並みの保存活用の取り組み

第15回 授業のまとめと試験

#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村:

山形市、東村山郡中山町、 西村山郡河北町



# 地域学習タイプ

講義型 ————— 体験型

# 協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

地域の日常のなかに大切にすべき事柄が潜んでいます。それを認識できないのはわたしたちの側の問題なのではないでしょうか。人は社会関係のなかで育ちます。地域の人々と交流することは様々な刺激を与えてくれるはずです。

# 雪国で考える

後期

担当教員 東山 禎夫

曜日校時 月曜日 5・6

#### 授業の目的

雪国は人口減少と高齢化が進んでいるだけでなく、雪国特有の問題を抱えています。一方では、雪の 人口減少先進地の山形県が現在抱える課題に向けて、若者の視点から人の生き方を考えながら、豪 雪地帯である大石田町を事例にとり、地域の活性化、地域創生の方法について探ります。授業の最 後に除雪ボランティアを行い、雪国の高齢者に対する除雪ボランティアの意義を考えます。

### 授業内容

雪国特有の問題、雪の科学、雪処理に関する講義 の後、山形県大石田町を訪れ、雪国の生活を体験 するとともに、日常の課題を聞きとり調査して、課 題解決に向けたグループ討論を行います。降雪期 に除雪ボランティアとして、豪雪地域の高齢者宅の 除雪を手伝います。



#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 大石田町



#### 地域学習タイプ

講義型 — 体験型

協働学習タイプ

### 授業PR

教室での講義とグループ討論を経て、実現可能なアイデアを提案します。仲間とのコミュニケーション 能力と発想力が求められます。考える力はすぐにはつきません。考えるときは言葉を使いますので、本 を読む習慣をつけるともに、色々な本から言葉を獲得していく必要があります。仲間とのグループ討 論でも、相手が理解できる言葉を自分の中に積み上げていく機会となりますので、グループ活動を積 極的に利用して下さい。

【受講者の感想】●豪雪地帯での雪かきを実際に経験し、雪かきが大変な重労働であると改めて実感 しました。今回伺ったような、高齢者の一人暮らしのお宅では雪かきが十分にできないので、近所で の助け合い、「近助 | のような考え方がとても重要だと感じました。しかし、人口減少が進んでいる地 域では、高齢者の割合が高い地区もあり、近所の助け合いだけでは十分に除雪作業ができるだけの 人数が確保できない場合も考えられます。高齢化・人口減少が進む中で、除雪ボランティアは重要な 活動であると感じました。●この授業を終えてみて1番感じたことはたくさんのことを体験できた盛りだ くさんの授業だったということである。講義、フィールドワーク、グループワーク、プレゼンテーション、 レポートなど大学で行うほとんどのことが、この「雪国で考える」のなかで学べてとても良かった。

# 地域体験スタートアップ

後期

匡/佐々木 究 担当教員 滝澤

日 校 時 月曜日 5・6

#### 授業の目的

- 人口問題を中心とした、日本全体及び地方(山形)の現状と将来的課題を講義により学習します。
- 山形の魅力的な歴史・文化・自然・人物・企業などを学習し、地方創生に繋がる地域の可能性を理解します。
- 大学周辺の地域活動に参加する地域体験により、地域の現状と課題を知ることができます。
- 講義でのグループワーク、地域活動での協働により、年齢や背景の異なる人々の組織で活動する 楽しみに出会え、社会人力を向上させることができます。

### 授業内容

【全国および山形に関連する12回の講義】と【地域体験】(1日 程度)を行います。

講 義:地域の現状と課題、山形の魅力を複数の教員のリ レー形式により実施します。

地域体験:グループにわかれ、社会福祉協議会や子供育成会と連 携した小白川キャンパス周辺の地域活動に参加します。

- 1. ガイダンス
- 2. 日本の現状(1) + グループワーク
- 3. 日本の現状② + グループワーク
- 4. 地方(山形)の現状(1) + グループワーク
- 5. 地方(山形)の現状② + グループワーク
- 6. 地域学習にむけた心得 + グループワーク
- 7. 山形の魅力ある歴史
- (学士課程基盤教育機構・阿部宇洋先生)
- 8. 山形の魅力ある〇〇

- 9. 山形の魅力ある文化 (阿部先生)
- 10. 山形の魅力ある人物 (地域教育文化学部・三上英司先生)
- 11. 山形の魅力ある企業
- (学士課程基盤教育機構・松坂暢浩先生)
- 12. 山形の魅力ある農業
  - + 【地域体験】(6月~8月の週末や休暇中に、 大学周辺の地域活動へ1日程度参加する)
- ※ 地域系シンポジウムへの参加を授業に組み込 むこともあります。

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村:山**形市**

講義による学習:

- ①人口問題を中心とした山形県の課題 ②山形の魅力ある地域資源
- 地域体験での学習:
- ②地域が抱える課題と魅力
- ①大学周辺の地域活動の運営の楽しみ



# 地域学習タイプ

講義型 体験型

協働学習タイプ



### 授業PR

自分たちが暮らす地域がどのような人々により支えられているのか学び、将来自分たちが担っていく気 概を持ってくれるとうれしいです。

#### 【過去の受講者の感想】

- 色々な先生の視点から山形の魅力を知ることができ、とても良い。
- グループワークでは自分の考えもつかないような意見や考え方をたくさん聞くことができ、とても刺激だった。 【授業評価】学生による授業評価は4.8/5 (H30 前期:Q総合的に判断すると良い授業でしたか?)

# 山形の火山、世界の火山

後期

担 当 教 員 伴 雅雄

曜 日 校 時 | 月曜日 5・6

#### 授業の目的

草津白根山や御嶽山の噴火は記憶に新しいですが、日本はこのような活火山を多数抱える世界有数の火山国です。山形や東北地方にも蔵王山、鳥海山を代表として活火山がたくさんあります。火山はひとたび噴火を起こせば災害をもたらします。この講義では、世界の火山の分布、型、噴火様式、噴出物など火山についての基本的な知識を修得した上で、山形の身近な火山の噴火の歴史、また噴火災害について考えます。

### 授業内容

各回のテーマに関してパワーポイントや視聴覚教材を用いて説明を行います。パワーポイントのシートは印刷して配布します。また、知識を深めるために演習を行います。学生主体型の演習も取り入れます。日程は以下の通りです。蔵王山での現地観察を10/12(土)に予定しています。

第 1 回 講義の進め方とガイダンス

第2~5回 蔵王山の現地観察

第6回 噴火の実例:演習

第 7 回 火山の分布と型

第8回 噴火のタイプと噴出物の種類: 演習

第9回 ハザードマップ、噴火シナリオ、

山形や東北の火山の噴火の頻度: 演習

第10回 世界の巨大噴火:演習

第11回 吾妻山蔵王山

第12回 鳥海山、その他の火山

第13回 火山との共生

第14回 火山との共生:演習

第15回 まとめと到達度評価



#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村:

山形市、上山市など

蔵王山、吾妻山、鳥海山などの山形の火山 の噴火の歴史、現状、災害予測について理 解できます。また、山形を含めた東北の火 山の分布、型、噴火様式、噴火頻度などの 基本的情報についても理解できます。



# 

# 授業PR

日本は世界有数の火山国ですが、これは地球の営みから考えると必然的であることがわかります。このような火山国に生まれた私たちは、火山と共生していく宿命にあります。火山は多くの恩恵をもたらしますが、一方で災害も引き起こします。うまく付き合っていくには火山を知ることが必要になります。この授業では、受講した人達が火山とうまく付き合うことができるようにしたいと思います。そのためにもなるべく欠席しないようにして下さい。

# 山形の歴史と文化

後期

担 当 教 員 荒木 志伸

曜 日 校 時 火曜日 3・4

#### 授業の目的

山形について歴史・文化的視点から学び、地域への愛着を深める授業です。山形大学に在籍している期間はもちろん、卒業後も山形という土地とそこで触れた文化に少なからず影響されるところが多いはずです。「地域」を知ることは、自らの生まれ育った場所を認識することであり、その結果として「自己」を発見することでもあります。山形で生まれ育った人も、初めて来られた人も、本授業で山形についての理解を深めてください。

#### 授業内容

毎回、山形の歴史や文化に関する内容を取り上げます。多くの映像資料などをパワーポイントを使用 しながらわかりやすく解説していきます。

第 1 回 ガイダンス

第2回 山形県の概要

第 3 回 山形の歴史・文化財① 山形の絵画・古文書

第 4 回 山形の歴史・文化財② 山形の考古資料

第 5 回 山形の歴史・文化財③ 山形の仏像

第6回 山形の歴史・文化財④ 山形の建築

第7回 山形の歴史・文化財⑤ 山形の日本遺産 第8回 山形の文化① 果物と在来野菜 第 9 回 山形の文化② 麺文化-ラーメン・蕎麦-

第10回 山形の文化③ GI山形-優れた日本酒-

第11回 山形の文化④ 伝統工芸

第12回 山形の文化⑤ 附属博物館の見学

第13回 山形の歴史と人物① 最上義光

第14回 山形の歴史と人物② 上杉鷹山

第15回 山形の歴史と人物③ 授業のまとめ、

山形および山形大学に関わる人物

### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村:

山形市、寒河江市、米沢市、 舟形町、鶴岡市、酒田市、

新庄市、村山市



地域学習タイプ 講義型 一 体験型

協働学習タイプ
個 人 ● ● ● ● グループ

### 学生へのメッセージ

「山形ってどんなところ?」と聞かれて、1つでも2つでも自らの表現で語ることができるようになってください。山形には全国に誇る歴史や文化財、食文化が沢山あります。それらの内容と背景を学ぶことで、山形を大好きになって頂きたいと思います。 なお、担当教員は平成30年度ベストティーチャーを受賞しています。

# グローバル社会で活躍するために

-国際派の先輩をお招きして-

後期

担 当 教 員 高橋 辰宏

曜 日 校 時 | 火曜日 7・8

#### 授業の目的

海外だけではなく、国内、県内、キャンパス内でも、グローバルに対応できる実践力が必要な時代です。グローバル社会に生きることを考え、そして理解し、さらに行動することをテーマにします。

#### 授業内容

毎回、さまざまな講師の話を聞き、毎回、質問する、グループで議論する、発表するなどを通じて行います。

外部からの予定講師は、一般社団法人山形県 国際経済振興機構・一般財団法人東北多文化 アカデミー・株式会社シェルター・アルケマ株式 会社・山形県商工労働観光部・日本貿易振興機 構(ジェトロ)山形貿易情報センター・認定 NPO 法人 IVY など多様です。

さらに、先輩学生(文系・理系)も講師として登場します。



#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村: 山形県全域

山形県内にあるグローバルに活躍している企業の情報等を知ることができます。



### 地域学習タイプ

講義型 ————— 体験型

協働学習タイプ

個人

### 学生へのメッセージ

グローバル社会に生きるため意欲的に学習・行動することを期待しています。

# 観光経済学と地域ブランド

後期

担 当 教 員 田北 俊昭

曜 日 校 時 水曜日 3・4

#### 授業の目的

「観光経済学と地域ブランド」の専門知識 (理論) だけでなくグループワークを行い、地方創生に関する視察および研究セミナーを体験します。「観光経済学」や「地域ブランド戦略」に関する学術的な面の習得に併せて実践的な面を身につけ、各自の専門領域だけでなく趣味等の様々な知識から、農山村地域が日本ブランド、世界ブランド化と高まるためのプランを作成します。

#### 授業内容

「観光経済学と地域ブランド」についての専門知識を用いたグループワーク、さらに、山形県の特定地域の視察および関係者との研究フォーラムを開催します。 毎回セミナー形式で行います。

- 1. 観光経済学と地域ブランド
- 2. 観光の歴史
- 3. 観光と行動
- 4. 情報産業
- 5. 観光と交通
- 6. 観光資源
- 観光と環境
   観光と文化

- 9. 観光施設 10. 観光と経済
- 11. 観光消費
- 12. 観光政策
- 13. 観光と地域社会
- 14. 観光と風景

最後に、「観光事業」視察および研究フォーラムを開催します。

# 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: **山形県全域** 



# 地域学習タイプ 講義型 一体験型

# 協働学習タイプ



#### 学生へのメッセージ

学生の発表が中心の授業になります。楽しみながらやりましよう。

 $\mathcal{A}$ 

# 山形の食を考える

後期

担 当 教 員 石垣 和恵/三原 法子/藤田 洋治

曜 日 校 時 水曜日 5・6

#### 授業の目的

山形の食文化を学ぶことで現代の食生活の課題を考究します。

#### 授業内容

山形の食文化について調理実習を含めて体験的に学びます。

- 第 1 回 オリエンテーション・山形の食文化概観
- 第2回 芋煮会のルーツを探る
- 第3回 山形の「かてもの」文化
- 第 4 回 食品保存の基礎 (芋がら作りを含む)
- 第 5 回 実習1 芋煮汁・もって菊のおひたし
- 第 6 回 大豆の食文化
- 第 7 回 実習2 アケビの煮物・呉汁
- 第8回 食品保存実習(切り干し大根他)
- 第 9 回 実習3 みそづくり
- 第10回 実習4 ハタハタ田楽・豆なます
- 第11回 実習5 納豆汁(作った芋がらを使って)
- 第12回 年中行事の由来と郷土料理
- 第13回 課題レポート「我が家の年末年始の 食事 | 報告と交流
- 第14回 食文化を支える郷土の食材と産業
- 第15回 授業の振り返り





#### 授業で学べる山形関連情報

対象市町村: 山形県全域



#### 地域学習タイプ

講義型 ————— 体験型

協働学習タイプ



### 学生へのメッセージ

グループ活動への積極的参加を求めます。調理実習経費は実費負担です。

# キャリア形成とワークライフバランス

後期

担 当 教 員 井上 榮子

曜 日 校 時 水曜日 7・8

#### 授業の目的

- 山形で活躍する講師の方々による講義を通じて、男女が共に仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) を保てる働き方について考え、自らのキャリア・ビジョンを描くことを目的とします。
- 21世紀日本の最重要課題である「男女共同参画社会」について深く理解し、どのような課題をどのように解決するのか具体的に考えます。
- 学生主体型授業や新聞活用などを通じて、社会人基礎力を身につけることを重視します。

#### 授業内容

- ゲスト講師の授業は、講義、質疑、まとめで構成します。学生主体で進め、事前の講師への連絡や講義・質疑の進行などを順番に担当し、全員が積極的に参加しています。
- ゲストによる授業以外は、グループごとの課題探究学習を行い、最後にレポート発表を行います。
- 新聞切抜きレポートに取組み、社会人として必要な新聞を読む力を身に付けます。



#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村:山形県全域

・山形県は共働き率や育児をしながら働いている女性の割合が非常に高く、男性も女性も働きやすい職場でくりや男性の家事・育児への参加を指極的に進めています。その山形で活躍する講師の方々との出会いをとおして、ワークライフバランスについて深く学ぶことができます。

・山形大学はダイバーシティ環境の実現に力を入れ、保育支援も充実しています。授業では、小白川キャンパスにある保育所を見学し、保育士さんへのインタビューやこどもたちとの交流を行います。



### 地域学習タイプ

講義型 ————— 体験型

協働学習タイプ



#### 受講者の感想

- まだ将来の方向性が定まっていないので貴重な授業だったし、他の学生の意見を聞けて良かった。 講師の先生への質問や授業後の話し合いも活発だったので、とても充実した時間となった。
- 今まで漠然と大学に行ったら就職できると考えていたが、厳しい現実を知ることができて良かった。 また、新聞の大切さを知り、新聞レポートを通して大事な情報を得ることができた。
- 「社会で活躍する女性」のたくましさ、しなやかさ、強さを感じた。家庭と仕事の両立を選び、活躍し続けている講師の方の姿は、とても格好よく、勇気をいただいた。
- 人生100年時代で、嬉しい反面、変化が激しい時代を生きていかなければならないという不安もある。大学在学中に、自分の能力を向上させる必要があると感じた。

# 歴史民俗資料を読み解く

後期

担 当 教 員 阿部 宇洋

曜 日 校 時 木曜日 3・4

#### 授業の目的

身近な歴史や民俗事象から情報を読み取り、観察することにより、山形への理解を深めます。また、山形を知ることで、比較軸を形成し、さまざまな視点で社会を見ることができるようになることを目的とします。

#### 授業内容

基礎的な内容を講義し、その後課題を提示します。 課題に対して討論(ディスカッション)→調査(グループワーク)→報告、発表をしてもらいます。 また、研究、文化財行政の最前線で活躍されている方から講義をしていただきます。



#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村: 山形県全域

山形に関する資料を使用します。また、1回は山形県内にある、歴史民俗系博物館を訪ねてもらいます。



#### 地域学習タイプ

講義型 ————— 体験型

協働学習タイプ

個人

# 学生へのメッセージ

本講義は歴史民俗資料学が学べる講義です。「あるく・みる・きく・かんがえる」ことで今までの学校生活では体験した事のない知的探究心を育むことになります。自身で壁を作らず、挑戦してみてください。古文書や民具などの実物の資料を実際に扱います。

# 人間の生活と食の安全・安心Ⅱ

後期

担 当 教 員 長谷 修/小笠原宣好/角田 憲一

曜 日 校 時 木曜日 7・8

#### 授業の目的

戦後の食糧不足の時代を乗り越えて、豊かな食生活が保障されているかに見える現代の日本において、 食の安全と安心に対する関心が高まっております。本講義では、農学の領域にある植物病理学、園 芸学、栽培土壌学的な視点から食の安全と安心の意味を学ぶことを目的とします。また、山形県を含む地域の関連事例を紹介し、地域の視点からも学ぶことを目的とします。

#### 授業内容

各分野(植物病理学、花卉園芸学、栽培土 壌学)の教員が担当します。

- 植物病理学:「植物保護学の視点から見た人間の生活と食の安全安心」について 学びます。
- 花卉園芸学:「園芸学の視点から見た人間の生活と食の安全安心」について学びます。
- 栽培土壌学:「栽培土壌学の視点から見た人間の生活と食の安全安心」について 学びます。



#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村: 山形県全域

域

山形県内の植物防疫に関する取り組み情報・花き生産における環境負荷 軽減の取り組み。



### 地域学習タイプ

講義型 ————— 体験型

協働学習タイプ

個 人 グループ

### 学生へのメッセージ

授業担当者によって違った視点からの問題提起があります。それらを基にして皆さんが自分自身の考え方、ものの見方を深めてください。

# 近代文学の中の山形

後期

担 当 教 員 森岡 卓司

曜 日 校 時 金曜日 3・4

#### 授業の目的

日本近代文学の中にあらわれる山形という地域表象の生成と変化とを、文化史的な観点から辿ります。 そのことで、現在、私たちが常識のように考えがちな地域イメージが、どのように作られ、変化してき たものなのかを学びましょう。また、それにどのように抗うべきなのかも、併せて考えてみましょう。

#### 授業内容

プリント資料とコンピュータスライドを使用し、テクストの精読を基本とします。 実地調査とそれに基づく学生の口頭発表 (個人) の機会があります。 授業は4部構成です。

『第1部 「みちのく」から「東北」へ』

『第2部 近代化と山形表象の変遷』

『第3部 山形市内実地調査』

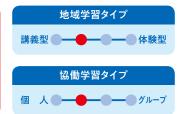
『第4部 まとめ』

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 山**形市**

山形、東北イメージの変遷について、現代の山形市における「山形 (東北)表象」の具体的な事例に即 して説明できるようになります。





### 授業PR

ありました。

個別の事象を関連づけて理解し、問題の本質に迫るための、理論的な見通しの習得を大事にしています。こうした能力は、専門分野にかかわらず、大学生としてとても大事な教養だと考えています。個別のテクスト理解や実地の調査も、その応用課題として位置づけられます。 過去の受講生からは、「〈地域について考える〉とはどういうことなのかを考えさせられた」という声も 世間の歩き方

後期

担 当 教 員 小倉 泰憲

曜 日 校 時 金曜日 5・6

#### 授業の目的

本授業は日本社会に特有の側面である「世間」について学んでいきます。世間は日本中のいたるところ、大都市や地方に、広い範囲のものから、狭いものまで、様々な形で浸透しています。世間においては、人々がお互いに助け合うという特長もある一方、生きづらさを感じさせる特徴も持っています。山形で学ぶということは、山形における世間を知る絶好の機会です。本授業では学生一人ひとりにとっての世間に着目し、今、山形大学で学ぶということを通じて自分の世間を客観的に表現でき、世間とうまく付き合えるようにしていくことを目的とします。

#### 授業内容

第3回までは世間に関する基礎的な講義と世間の研究方法を説明します。その後、グループ別に取り組みテーマを決めます。グループ規模は4名~6名程度とします。ただし、状況によっては1名で取り組むことも認めます。第5回以降はグループ(あるいは個人)単位で、調査・資料準備、プレゼンテーション準備、リハーサル、プレゼンテーションといった取り組みを行います。これを2セッション実施します。

- 1. オリエンテーション
- 2. 「世間」とは
  - ・なぜ世間を扱うのか ・世間とは(世間学、菊と刀) ・世間と社会
- 3. 世間の意識化(外在化と批判的思考)
  - ・日本の、そして「山形のあたりまえ」を探る(男女差別、名刺交換)
  - ・日常の中の世間(「山形で」/日本で:親子の関係)
  - ・学校の中の世間(群読、組体操、「空気よめ|「いじめ|「敬語|「人間関係」)
- 4. テーマ検討(全員で分類、テーマ配分)
- **5-14.** グループワーク
  - ・調査・資料準備 ・プレゼンテーション準備 ・リハーサル ・プレゼンテーション
- 15. 全体まとめ



### 学生へのメッセージ

日本の中での「あたりまえ」に違和感を持ったり、生きづらさを感じている人がいますが、これは「世間」によるものかもしれません。自分なりの問題意識を持って授業に参加することをお勧めします。

# 新聞で山形を知る

後期

担 当 教 員 山本 陽史

曜 日 校 時 金曜日 5・6

#### 授業の目的

社会や文化の動きを知るのに新聞ほど役に立つメディアはありません。速報性ではテレビやインターネットにはかないませんが、事件の背景の分析や専門家の見解など、その本質を理解する参考となる記事が新聞には掲載されます。つまり社会現象を深く掘り下げるのに適しています。この授業では【山形県全域をカバーする山形新聞の記事を題材にして、山形の社会・文化の現状についてのニュースを読んで分析】するとともに、「山形から見ると日本・世界はどう見えるか、その動きが山形とどのようにかかわっているのかを分析」していきます。また、新聞の文章はコミュニケーションのための日本語としてはとても上質なものです。授業のレポートや、就職のためのさまざまな文章を書く際に大いに参考になりますので、文章についても分析し、それを模範にした文章のトレーニングもします。

### 授業内容

毎回当日の山形新聞を中心に、タイムリーな新聞記事を取り上げ、その記事の背景を解説するとともに、その記事を手がかりにして調査や話し合いをします。また、何回かは全国紙(読売・朝日・毎日など)やブロック紙(河北新報)と同じ話題を取り上げた記事を取り上げ、比較します。また、新聞の文章を分析し、それにならって新聞記事風のレポートを書いていただきます。出しっぱなしではなく、添削を加え、また授業中に提出されたレポートを例示し、改善すべき点を検討しながら、各自の最終レポートを仕上げていきます。

#### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: **山形県全域**

県内で起きているさまざまの社会現象や 文化活動、山形が現在置かれている状況、山形の歴史や将来像などを知ることができます。



# 

### 学生へのメッセージ

新聞を読むのは億劫だという人の参加も歓迎します。新聞なんて読まなくてもネットでニュースはわかるから新聞は不要という考えは安易すぎます。新聞は単にニュースを伝えるための道具ではありません。理系文系を問わず、社会常識を知り、新聞記事のような文章を書けるようになることは社会人になるため、社会人として活躍するためになる武器を手に入れたことになるのです。将来の就職活動に向けて、かならず役に立つ授業です。

# 仕事の流儀 ~プロから学ぶ仕事のやりがい~

後期

担 当 教 員 松坂 暢浩/山本美奈子

曜 日 校 時 金曜日 7・8

#### 授業の目的

本授業は、『山形県内の企業や自治体の現場に活躍する職業人 (プロフェッショナル) の話を聞き「働くこと」について考えること』を目的にしています。講師のリアルな体験談やキャリア観、仕事観を聞き、自分にとって働くとは何か、卒業後にどのような仕事に就きたいかなど将来のキャリアにつながるヒントを見つけてください。また、働くことを前向きに捉え、社会に出るまでの大学生活をどのように過ごすかを考えましょう。

#### 授業内容

- 本授業は、本学と連携しているアライアンスネットワーク企業、本学OB・OG、山形に馴染みのある方などを講師としてお招きします。まず講師の先生の話を聞き、その後ペア・グループでの振り返りと講師への質問を考えます。そして質疑応答を通して、働くことに対する理解を深めていきます。
- アライアンスネットワーク企業については、山形 大学のホームページにある「就職支援・キャリア 支援 | から確認ください。



#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村: 山形県全域

山形県内の企業や自治体で 働く魅力。



# 地域学習タイプ 講義型 ●── ○── 体験型

# 協働学習タイプ 個 人 — — グループ

# 授業PR

- 普段出会えない社会人と接点が持てる貴重な経験です。授業内で積極的に質問をしてください。 また失礼のないように挨拶や話を聞く際の姿勢などには十分に注意してください。
- ■履修した先輩の感想(アンケートの感想から一部抜粋)

「この講義は一番印象に残る大好きな講義でした。来年度も後輩たちやたくさんの人に「働く」ということを考えてもらえるような講義を作ってもらえればと思います。|

「普段触れ合わない社会人の方々の話を聞くことで、働くことに対する視野が広がり、また山形の企業に対しての興味が生まれました。」

「大学の中にいると社会人と交流する機会はほとんどありません。この講義では普段聞くことができない社会人の方のお話をたっぷりと聞くことができました。」

# 雪とともに生きる体験

後期

担 当 教 員 滝澤 匡/阿部 宇洋

曜日校時集中

#### 授業の目的

- 豪雪地である尾花沢市・市野々地区の地域活動に季節を通じて参加し、雪との生活の実態とそこから生まれた知恵、文化、共助の精神を学びます。
- 山形の魅力を五感で学び、深みある知識として習得することで、山形や地域への関心を高めてくれることを期待しています。
- 地元講師や学生との協働では、年齢や背景の異なる多様な人々の組織で活動する楽しみに出会え、 社会人力を向上させることができます。

#### 授業内容

世界有数の豪雪地である尾花沢市・市野々地区の 地域活動へ季節を通じて参加します。

- 1)8月には松尾芭蕉が通った峠で開催されるイベントの運営に参加します。
- 2) 11月には冬への備えとして地域で行わる活動へ 参加します。
- 3) 1月の活動では、2 m近い積雪の中で高齢者宅 や地域施設などの除雪を行います。

#### 【授業計画(日程)】

1. ガイダンス→2. 履修決定→3. 事前打合せ→4. 現地での演習8月(宿泊)、11月、1月(宿泊)合計約5日間→5. 成果発表会(2月)



#### 対象市町村: **尾花沢市**

尾花沢市・市野々地区の地域活動に参加し、文化・生活様式・共助の精神にふれながら、豪雪との暮らしを学びます。



# 地域学習タイプ



#### 協働学習タイプ



# 授業PR

地域の方々とともに汗を流す協働作業を通じて、社会で求められる力を向上できる授業としても、学生たちから好評です。

#### 【過去の受講者の感想】

- 体力的には大変であったが、様々な人達と関わることで自分の知らない考え方や生活を学ぶ有意義な経験だった。
- 丁寧に教えていただき、心のこもった指導をしていただくことがこんなに楽しいことなのかと大きな発見ができた。
- 地元(都会)では見ることができない、助け合いの精神がとても心地よかった。

【社会人力の向上】学生自身によるコミュニケーションカやチームワークなどの評価が3.2 (受講前)

→ 4.1 (受講後) と変化

【授業評価】学生による授業評価は4.7/5(H29:Q総合的に判断すると良い授業でしたか?)

# 地域のにぎわいづくり体験

後期

担 当 教 員 滝澤 匡/阿部 宇洋

曜日校時集中

#### 授業の目的

- 山形市・柏倉地区の地域イベントの運営に参加し、地域資源を活用した活性化を学びながら、地域の魅力にふれてください。
- 山形の魅力を五感で学び、深みある知識として習得することで、山形や地域への関心を高めてくれることを期待しています。
- 地元講師や学生同士の協働では、年齢や背景の異なる多様な人々の組織で活動する楽しみに出会え、社会人力を向上させることができます。

#### 授業内容

山形市・柏倉地区の活性化をはかる「柏倉にぎわいづくりネットワーク」が行うイベントの運営に参加します。

- 1.11月の「干柿まつり」では、収穫されなくなった 地域の柿を利用し、繁華街の商業施設に昔ながら の秋の風景を蘇らせる活動を行います。
- 2.1月の「柏倉ぼんぼりまつり」では、伝統行事いわいいわいの会場を雪灯篭や雪洞(ぼんぼり)の灯りで彩り、盛り上げる活動を行います。

#### 【授業計画(日程)】

1. ガイダンス→2. 履修決定→3. 事前打合せ→4. 現地での演習11月、1月 合計約5日間→5. 成果発表会(2月)

### 授業で学べる山形関連情報

#### 対象市町村: 山**形市**

地域活性化イベントの運営に参加 し、地域資源の魅力とそれを活用し た活性化策を学びます。



### 地域学習タイプ

講義型 ———————体験型

協働学習タイプ

個人の一〇一〇グループ

### 授業PR

地域の方々とともに汗を流す協働作業を通じて、社会で求められる力を向上できる授業としても、学生たちから好評です。

#### 【過去の受講者の感想】

- お客さんが嬉しそうにされているのを見て、この活動に関われて良かったと感じた。
- 地域の方々があたたかく迎えてくれたことで、達成感や満足感が大きくなった。
- 厳密に役割を決めなくても効率的に動けたのは、この活動を通して成長した部分だと思う。

【社会人力の向上】学生自身によるコミュニケーションカやチームワークなどの評価が3.2(受講前)

→4.1(受講後)と変化

【授業評価】学生による授業評価は4.7/5 (H29:Q総合的に判断すると良い授業でしたか?)

# やまがたフィールド科学 Ⅱ (雪との共生-雪国の自然と生活-)

後期

担 当 教 員 ロペス・ラリー

曜日校時集中

#### 授業の目的

冬のアウトドアで雪と遊びながら雪を科学します。

雪国の自然と暮らしに多大な影響を及ぼす雪について、野外での体験学習と講義を通じて知識を深め、雪の環境を克服し、雪を利用し、雪に親しむ方法を考えてもらいます。また、共同生活を通じて役割分担とリーダーシップの重要性を学び、豊かな感性とフレンドシップを育んでもらいます。

### 授業内容

雪の物理的性質、雪と森林の相互関係、雪国の暮らし・風土・文化、利雪、親雪、冬山サバイバル、 共同生活における役割分担について体験学習を行います。

農学部附属やまがたフィールド科学センター上名川演習林の宿泊施設を利用し、集中合宿・自炊方式によって体験学習に重点をおいた授業を行います。

#### ●日程

1月初旬の3泊4日の日程で、積雪断面の観測、雪山森林作業、かんじき・スキー歩行、かまくら・イグルー設営などを内容とする野外体験学習と、雪国の自然・暮らし・風土・文化に関する講義を行います。

#### 授業で学べる山形関連情報

# 対象市町村: 鶴岡市

農学部附属やまがたフィールド科学 センター上名川演習林を拠点として 授業を行います。



# 地域学習タイプ 講義型 ──────────体験型



# 学生へのメッセージ

セミナーの拠点となる上名川演習林は月山朝日山系にあり、雪の多さに関しては大学演習林としては世界一。白銀の世界で思い切りアウトドアしながら雪を科学しませんか。

#### <留意事項>

- 農学部までの交通費、食費、宿泊費等は履修者の自己負担となります。
- 演習林は携帯電話の圏外にあり、冬は周囲から隔絶された閑静な環境に恵まれます。
- ●雪や寒さ、雪上歩行に備えた服装を各自で用意する必要があり、履き物は防寒長靴がベスト。
- バス下車地点から宿泊施設までは除雪されていませんので、入・下山時は雪道を1時間ほど歩きます。
- 共同生活では、受講者相互の協力、節度ある生活態度が求められます。

# 大争水

# 現地講師からの学び方

地域学習では、担当教員に加えて、現地講師から学ぶ機会があります。

# 心構え

- ●現地の方のご厚意により、授業が行われています。常に感謝の気持ちを忘れずに、学習してください。
- ●話を聞くだけの受動的な学びから、能動的に理解する学びへと変えて いきましょう。

# 話を聞く

- 現地講師を中心にして、声の届く範囲 に自分たちで集まりましょう。 そうでないと、講師の方は大きな声を あげなければいけません。
- 資料やメモに集中しすぎず、顔をあげてお話を聴き、うなづきなどで理解を示します。
- ひとりひとりの行動が授業のムードを作ります。学生同士の私語は慎みましょう。

# 3 移動や休憩中も

- バスの乗降、現地での移動は素早く 行って下さい。講師の方が皆さんを待つことがないように注意して下さい。
- 移動中も授業です。地域住民の目を 意識し、山形大生として相応しい行動 を心がけて下さい。
- 移動中も現地講師の方とお話できる機会があります。説明の際にできなかった質問などもうかがってみて下さい。

# 2 質問する

- 不明な点があれば、すぐに質問しま しょう。
- 方言などが聞き取りにくいかもしれません。遠慮せず、うかがいましょう。
- 自分の理解に自信がなければ、「~~ とのことで正しいでしょうか?」と確か めることも必要です。
- 質問することは、こちらの興味・関心を伝えることになります。

# 4 将来的に

- 現地講師から話をうかがうなど、自ら 積極的に学ぶ姿勢は、将来の皆さん にとって必要な能力となります。
- 年長者や先輩に教えを求めたり、年齢や背景の違う人に話をしたりする場面で、現地講師から学んだ経験がいかされます。
- 将来を見据えて、大学での学びを進めて下さい。







# 服装について

教室を離れて地域で学ぶ際、服装はとても重要です。

大学生として最低限のマナーであるだけでなく、皆さんが安全かつしっか りと学ぶための準備でもあります。

活動場所や季節にあわせた、適切な服装で地域での学習を存分に楽し んでください。

持ち物



飲み物 (水分補給)



(特に、農作業や除雪時)

# 街場での活動

動きやすく、歩きやすい 服装を重視して下さい。

# 適切な服装

派手な色彩や過度な露出 は控え、大学生としてふ さわしい服装を心がける。

# 歩きやすい靴

53



日差しから頭を守り、熱 中症の予防

### リュック

メモ等が取りやすいよう、 両手が自由になるカバン が良い。

# 野外作業(夏季)

動きやすく、汚れてもよい 服装を重視して下さい。 汚れを気にしていては充分 に活動できません。

### タオル

汗を拭ったり、首筋から 虫の侵入を防ぎます。

### 長袖・長ズボン

かぶれ、擦り傷、虫刺さ れ等を防ぐため、肌を露 出しない。

# 帽子

日差しから頭を守り、熱 中症の予防。ハチ除け

### 手袋

軍手でも良いが、ゴム張 りの手袋がフィットし作業 しやすい。

### 長靴

草によるかぶれや虫の侵 入を防ぎます。

# 野外作業(冬季)

防寒かつ濡れにくい服装を 重視して下さい。 雪かき時などは汗の管理も 必要になります。

# アウター

風や雪(雨)を通さない (ナイロン性) ものが良い。 ない場合は雨合羽などを 重ね着する。

# インナー

吸水性がよく、乾きやすい 素材が望ましい。除雪作 業など汗をかく場合は、替 えの服を用意してください。

### 帽子

耳まで被れるものが良い。

# マフラー(タオル)

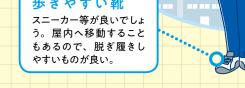
風の侵入を防ぎ、防寒に 大切です。しかし、大きす ぎるマフラーは作業の妨げ になります。

### 手袋

防水性があり、防寒にす ぐれたもの。軍手は濡れ るので不可

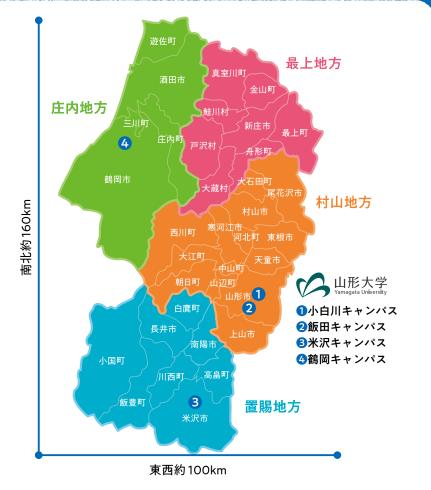
### 長靴

雪が入らない高さがあり、 防水のものが良いでしょう。





# 山形県の基礎情報



人 口:約110万人 (全国35位)面 積:約9300K㎡ (全国9位) 人口密度:約120人/k㎡ (全国42位)

# 全国1位

3世代同居率…17.8% 世帯自動車所有量…2.1台

### 全国2位

共働き率…35.8% 住宅敷地面積…408㎡

# 山形県が抱える人口問題

# ▶県人口が約3割減少と予測

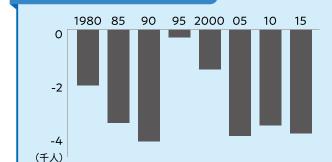


# 主な原因

## 1 出生数の低下(少子化)



# 2 進学・就職に伴う流出



# 主に **首都圏と** (約2000人)

宮城県に流出 <sup>(約1000人)</sup>

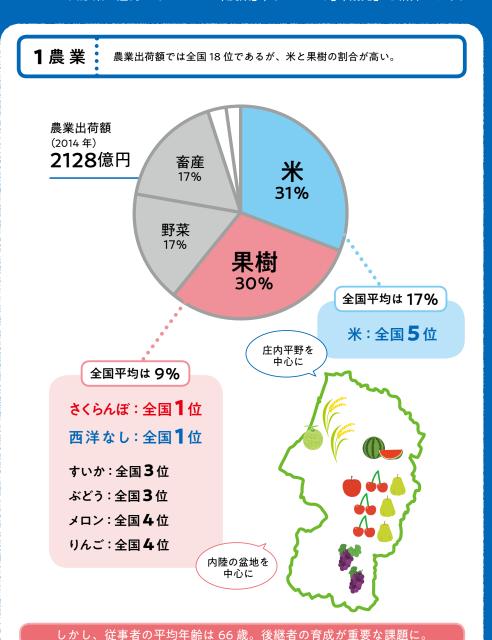
(2013)



このままでは……多くの市町村が消滅の危機に。

県人口の減少を抑制するためには、**雇用の拡大** や **所得の向上** につながる産業の活性化が望まれます。

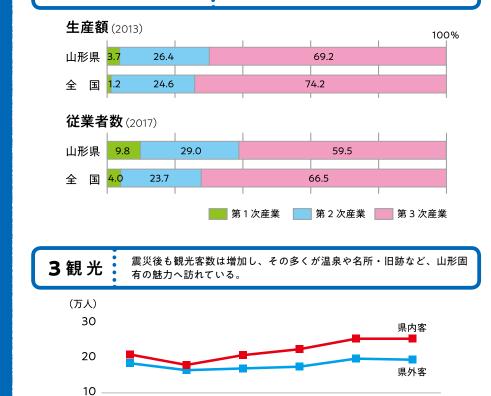
ここでは山形県の魅力となっている「農業 | 「ものづくり | 「観光 | を紹介します。



57

2 ものづくり(製造業)

生産額、従事者数において、製造業を中心とした 第2次産業が占める割合が高い。



2012

2013

道の駅

14.0%

2014

名所・旧跡

18.8%

2015

温泉

23.8%

100%

# (?) 山形をもっと知りたい…

2011

その他

35.2%

0

▶統計情報を知りたい…

観光先

(2015)

2010

山形県統計企画課・統計情報データベース https://www.pref.yamagata.jp/ou/kikakushinko/020052/tokeijoho.html

- ▶他県との比較を知りたい ························日本・地域番付 http://area-info.jpn.org/
- ▶人口減少問題を知りたい ……… 国立社会保障・人口問題研究所 http://www.ipss.go.jp/index.asp
- ▶ 研究・書籍を知りたい … 県立図書館「山形県関係文献目録」https://www.lib.pref.yamagata.jp/?page\_id=333
- ▶ 広報誌やガイドブックを探したい · · · · · · · yamagata ebooks http://www.yamagata-ebooks.jp/

